

平成 17 年度

N B K 大賞・学生ニュービジネス大賞 新聞掲載一覧

N B K 大賞・学生ニュービジネス大賞 記者発表
日時：平成 17 年 10 月 27 日（木）
午前 11 時～12 時
場所：大阪商工会議所 4 階「大阪経済記者クラブ」



社団法人関西ニュービジネス協議会

ファーマフーズにNBK大賞

近畿経産局長賞にはドーガ

関西ニュービジネス協議会(NBK)は27日、2005年度の「NBK大賞」に、機能性食品素材の開発・販売を手がけるファーマフーズ(京都市)を選んだと発表した。近畿経済

産業局長賞には、ソフト開発のドーガ(大阪市)が選ばれた。

ファーマフーズは、ピロリ菌の除去作用がある抗体を鶏卵から採るなど、医薬

的効果のある機能性食品を独自開発している点が評価された。

ドーガは、小学生でも手軽にコンピュータグラフィックス(CG)によるアニメーションを制作できるソフトを開発している。学校に無償で配布するなど、人材育成に努めていることも授賞理由となった。

「NBK大賞」に ファーマフーズ

関西から新たなビジネスの創出を目指す関西ニュービジネス協議会は二十七日、独創的な事業に取り組む企業を表彰する平成十七年度のNBK大賞に、バイオ技術を用いた機能性食品開発の「ファーマフーズ」(京都市、金武祚社長)を選出したと発表した。

近畿経済産業局長賞には、CG(コンピュータ・グラフィックス)のアニメを簡単に作製できるソフトを開発した「ドローガ」(大阪市、鎌田優社長)。学生ニュービジネス大賞には、繊維用の紫外線カットスプレーを開発した「ペルレ」(代表・奈良先端科学技術大学院大学の須田麻友子さん)が決まった。

今年にはNBK大賞、学生ニュービジネス大賞の両部門で計四十七件の応募があった。

今年度大賞に ファーマフーズ

関西NB協

関西ニュービジネス協議会(NBK、大阪市中心区、井植敏会長、06・6947・2851)

は27日、05年度「NBK大賞」の受賞者にファーマフーズ(京都市南区、金武祚社長)を決めた。

また近畿経済産業局長賞にはドローガ(大阪市北区、鎌田優社長)、学生ニュービジネス大賞には奈良先端科学技術大学院大学の須田麻友子さんほか3人のグループ「ペルレ」をそれぞれ選んだ。11月9日に大阪市北区の大阪国際会議場で開催される「ベンチャー2005KANSAI」で表彰する。

ファーマフーズは鶏卵使用による医薬的効果のある機能性素材を内外の市場に供給。鶏卵抗体ビジネスの事業化にも着手している。ドローガはコンピュータグラフィックスアニメを手軽に制作できるソフトを商品化。一方、ペルレは酸化チタンを成分とした衣服用紫外線(UV)カットスプレーを開発した。

05年度NBK大賞

兵庫の3企業
部門賞に決定

関西ニュービジネス協議会は二十七日、独創的で市場性のある事業を展開している企業や団体などに贈る二〇〇五年度の「NBK大賞」の部門賞に、兵庫県内から三社を選んだ。アイエンス（神戸市、吉田憲史社長）、日本ジャバラ工業（同、田中信吾社長）、ヤマシタワークス（尼崎市、山下健治社長）で、いずれも気鋭の企業ばかり。十一月九日に表彰される。大賞にはバイオによる機能性食品を開発したファーマフーズ（京都市）が選ばれ、ほかに七つの部門賞が決まった。

県内ではアイエンスが環境・アメニティ部門賞を受けた。開発したのは排水用の浄化・脱臭システムで、ノズルから噴射した酸素で微生物を活性化し、有機物や汚染物質などを分解する。

日本ジャバラ工業は企業革新部門。県中小企業家同友会代表幹事も務める田中氏の下、従来の工作機械用ジャバラの性能を大きく上回る製品を開発した。

ヤマシタワークスは第二創業部門賞。技術習得まで多大な時間を要した金型鏡面仕上げ加工について、特殊な研磨剤を使うことで短時間でできるようにした。

（加藤正文）

ファーマフーズ
NBK大賞受賞

関西企業でつくる新産業支援団体「関西ニュー

ビジネス協議会」（井植

敏会長）は二十七日、独創的なビジネスを表彰する

「NBK大賞」を発表し、

大賞企業にバイオベンチ

ヤーのファーマフーズ

（京都市南区）を選んだ。

今年で十七回目。ファ

ーマフーズは、鶏卵から

抗体や骨形成タンパク質

などを抽出、機能性食品

の新市場を開拓したこと

が評価された。滋賀から

は、ヒューマン商品開発

部門賞に太陽光利用の照

明装置を開発した井之商

（大津市）が選ばれた。

また、学生のビジネス

プランを対象にした部門

では、近畿経済産業局長

賞にスポーツ系フリーペ

ーパーを提案した立命館

大四年の磯部武秀さんら

のグループを選んだ。十

一月九日に大阪市内で表

彰式を行う。